

図画工作科の授業創造プラン（平成28年度）

日野市立日野第五小学校

	児童の実態と課題	学力向上プラン	実践記録	成果と課題
3年	<p>○絵の具に興味関心をもち、積極的に描く児童が多い。</p> <p>○前学年までに学習した用具や道具の使い方を守っている児童もいる。</p> <p>○友達の作品への興味関心があり、感じたことを言葉で表現することができる。</p>	<p>○絵の具を使う際、絵の具の出し方、筆の持ち方、水の量の調節といった基礎基本を指導し定着を図る。</p> <p>○新しく学習する用具、道具を使う際、使い方の基礎基本をICTを使い指導したり、教師が実演したりして、正しく使い方を習得させる。</p> <p>○鑑賞のワークシートを毎学期ごとに行い、色・形・デザインについて作品を見ながら具体的に指導し、鑑賞へ興味関心を高める。</p>	<p>○「心に残った事」という題材で、絵の具の使い方の基礎基本を確かめながら着色を行った。</p> <p>○鋸と金槌の使い方を実践し基礎基本の定着を図った。</p> <p>○鑑賞のワークシートを毎学期ごとに配布し、作品の良い所を見つけたり取り入れたりしながら互いに感じ取る時間を入れた。</p>	<p>○絵の具の使い方は全員理解できた。</p> <p>○丁寧に楽しく絵の具で塗ることができた。</p> <p>○道具の使い方については個人差があるので、1対1で指導する。</p> <p>○鑑賞することにより、作品の良い所を見つけ次の作品にいかす時間を取った。</p>
4年	<p>○絵の具の混色の方法、筆の持ち方、水の量の調節などに関心をもち積極的に描く児童が多い。</p> <p>○前学年までに学習した用具や道具を自信をもって使っている。</p> <p>○友達の作品への興味関心があり、感じたことをことばで表現することができる。</p>	<p>○絵の具を使う際、絵の具の出し方、筆の持ち方、水の量の調節、混色の方法といった基礎基本を指導し定着を図る。</p> <p>○新しく学習する用具、道具を扱う際、扱い方の基礎基本を指導し、多く体験させ、正しい扱い方を習得させる。</p> <p>○鑑賞のワークシートを毎学期ごとに行いよさを感じ取る力を一層豊かに育てる。</p>	<p>○「ほって すって」という題材で、絵の具を混ぜて着彩する題材を扱うことで混ぜる量によって色が変化することを楽しみながら体験することができた。</p> <p>○「ほって すって」という題材で彫刻刀の使い方を学習し定着を図った。</p> <p>○鑑賞のワークシートを毎学期ごとに配布し、作品の良い所を見つけたり取り入れたりしながら互いに感じ取る時間を入れた。</p>	<p>○児童が自分で試しながら絵の具の混色をすることができた。</p> <p>○彫刻刀の使い方では彫刻刀の彫り後の違いを探し出したりする等、道具や用具の特徴を把握することができた。</p> <p>○作品を製作するたびに作品について良い所を見つけ次の作品にいかす時間を取った。</p>
5年	<p>○絵の具の混色の方法、筆の持ち方、水の量の調節などを習得し自分なりに工夫して表現することができる。</p> <p>○前学年までに学習した用具や道具を工夫して使用することができる。</p> <p>○作品のよさに気づき感じ取ることができる。</p>	<p>○絵の具を使う際、絵の具の出し方、筆の持ち方、水の量の調節、混色の方法といった基礎基本を指導し定着させる。</p> <p>○新しく学習する用具、道具を扱う際、扱い方の基礎基本を振り返り確実に定着させる。</p> <p>○鑑賞のワークシートを毎学期ごとに行いよさを感じ取る力を一層豊かに育てる。</p>	<p>○「くねくね系鋸」「何でかいているのかな」という題材で、アクリル絵の具の使い方を復習しながら定着を図った。</p> <p>○「立ち上がれマイライン」では、ベンチ、ラジオベンチ、万能はさみの使い方の定着を図った。「くねくね系鋸」では電動鋸の使い方の定着を図った。</p> <p>○鑑賞のワークシートを毎学期配布し、作品の良い点を見つけたり取り入れたりする時間をとった。</p>	<p>○絵の具のに関しては、児童の興味のあるパズルの題材を取り上げたことで混色で色々な色をつくることできるようになった。</p> <p>○系鋸で何回も切る体験をすることで、手の置き方やコツが定着することができた。</p> <p>○鑑賞においては、自分の作品以外にも目を向け、友達の作品の良さや面白さを積極的に味合えるよう指導する。</p>
6年	<p>○絵の具の混色の方法、筆の持ち方、水の量の調節などを習得し自分なりに工夫して表現することができる。</p> <p>○前学年までに学習した用具や道具を工夫して使用することができる。</p> <p>○作品のよさに気づき感じ取ることができる。</p>	<p>○絵の具を使う際、絵の具の出し方、筆の持ち方、水の量の調節、混色の方法といった基礎基本を繰り返し指導し定着させる。</p> <p>○新しく学習する用具、道具を使う際、使い方の基礎基本を振り返り確実に定着させる。</p> <p>○鑑賞のワークシートを毎学期ごとに行いよさを感じ取る力を一層豊かに育てる。</p>	<p>○「緑と清流ポスター」という題材で、水彩絵の具の使い方を復習しながら製作を進めた。混色、筆の持ち方を中心に定着を図った。</p> <p>○「板から何が」では電動鋸、彫刻刀の定着を図った。</p> <p>○鑑賞のワークシートを毎学期配布し、作品の良い点を見つけたり、取り入れたりする時間を取った。</p>	<p>○児童が興味のあるポスターの題材を取り上げたことで混色で色々な色をつくることできるようになった。</p> <p>○道具や用具を使用前に振り返る活動を入れることで、正しい使い方を確認し、定着を図った。</p> <p>○鑑賞では、自分の作品以外にも目を向け、友達の作品の良さや面白さを積極的に味わえるよう指導する。</p>